

東京工業大学大学院社会理工学研究科

合意形成学特別教育研究コース

Education Program for Consensus Building

Graduate School of Decision Science and Technology
Tokyo Institute of Technology

<http://www.ipcob.org/course/>

「合意形成学特別教育研究コース」への履修登録は、「特別教育研究コース履修届」の提出により随時可能です。また、すでに取得済みのコース指定科目の単位も、さかのぼってコース修了認定要件に算入できます。

修士課程への新生に限らず、東京工業大学のすべての大学院生（修士課程・博士課程とも）の参加をお待ちしております。

東京工業大学大学院社会理工学研究科

合意形成学特別教育研究コース

Education Program for Consensus Building

Graduate School of Decision Science and Technology
Tokyo Institute of Technology

<http://www.ipcob.org/course/>

はじめに

「合意形成学特別教育研究コース」は、東京工業大学大学院の社会理工学研究科価値システム専攻（<http://www.valdes.titech.ac.jp/>）と総合理工学研究科知能システム科学専攻（<http://www.dis.titech.ac.jp/>）が協力して運営する、横断的で機動的な教育研究拠点です。

東京工業大学の大学院生は、理工系の専門知識を身につけるだけでなく、「科学技術と実社会のインターフェース」の役割を担い、科学技術の、円滑そして適切な、実社会への導入に寄与することを社会から期待されています。

「合意形成学特別教育研究コース」は、社会からのこのようなニーズに応えるために、2008年に設置されました。つまり、科学技術と実社会の間の不整合から生まれるさまざまな社会問題を解決し、社会を円滑に運営するための基盤のひとつである「合意形成学」の教育研究プログラムを、東京工業大学の大学院生に広く提供し、「合意形成学」を修めた人材を輩出することで、東京工業大学の大学院生への社会的ニーズに応えることが、本コース設置の理由です。

この「合意形成学特別教育研究コース」は、社会システム工学、集団意思決定システム理論、シミュレーション技術などの理工学分野における知、そして、法学、経済学、社会学、政治学、哲学など人文・社会科学分野における知を動員してコース科目を編成することにより、社会を円滑に運営するための優れた合意形成メカニズムの構築に必要な、さまざまな分野の知を、網羅的・体系的に提供します。

「合意形成学特別教育研究コース」では、「合意形成学」に関する教材の整備を進めています。実際、必修科目「合意形成学」の講義内容を網羅した書籍「合意形成学」（勁草書房）を2011年3月に出版し、「合意形成学」という学問分野の構築と社会への発信を行いました。今後、合意形成の諸側面に対応する専門書の出版を目指します。また、国際連携による「合意形成学」の教育カリキュラムの内容の深化と包括化を目指します。指定科目の「国際ネットワーク形成演習」や「国際発表実践演習」を利用することで国際学術交流の機会を増やし、グローバルな合意形成問題にも対処できる「合意形成学」の構築を進めていくことで、より深くより広い「合意形成学」の教育研究コース構築を進めます。

東京工業大学大学院の「特別教育研究コース」とは。

東京工業大学大学院の「特別教育研究コース」は、大学院での先端的教育と実務の人材養成をプロジェクト的に行うことを目的とし、また、大学院での教育研究の高度化と多様化を達成するために研究科や専攻の枠を越えて編成される、横断的で機動的な教育研究拠点です。

「合意形成学特別教育研究コース」を履修・修了すると

- 科学技術と実社会の間の不整合から生まれるさまざまな社会問題を解決し、社会を円滑に運営するための基盤のひとつである「合意形成学」について、網羅的かつ体系的に学習・研究することができます。
- 社会的なニーズの大きい「科学技術と実社会のインターフェース」の役割を担い、科学技術の、円滑そして適切な、実社会への導入に寄与できます。
- 各学期末に「単位取得状況証明書」が発行されるので、コース履修状況の確認ができ、また、就職活動や奨学金免除申請の際のアピール・ポイントにすることができます。「合意形成学」を修めたことの証として、通常の修士や博士の学位記とは別に、合意形成学特別教育研究コースの「修了証書」が授与され、また「修了証明書」も発行されます。

コース履修・修了方法

- 「特別教育研究コース履修届」と「合意形成学特別教育研究コース履修届」を指導教員経由で提出する。履修届の様式は、それぞれ
<http://www.dst.titech.ac.jp/student/special.html>と、
<http://www.ipcob.org/course/documents.html>からダウンロードできる。
 提出先は、それぞれ、社会理工学研究科事務室（西9号館2階205号室(W9-119)）と
 価値システム事務室（大岡山キャンパス西9号館7階714室(W9-44)）である。
- 指定科目について通常の履修申告を行い、科目を履修する。
- 「修了認定申請書」を大学院修了1か月前までに指導教員経由で提出する。
 履修届の様式は、<http://www.ipcob.org/course/documents.html>から
 ダウンロードできる。提出先は、価値システム事務室（大岡山キャンパス西9号館7階714室(W9-44)）である。

※ コースWebサイト <http://www.ipcob.org/course/>もご参照ください。

研究プロジェクトとの連携

「合意形成学特別教育研究コース」は、研究プロジェクト「合意形成学国際プログラム」（IPCOB、<http://www.ipcob.org/>）と連動しています。

合意形成学国際プログラム（IPCOB）は、新しい「合意形成学」の構築を目指し、合意形成学特別教育コースに科目を提供している教員が中心となって運営している教育研究プログラムです。

シンポジウムの開催、学術雑誌への研究論文投稿、国際会議への参加などを通じて成果を発表しています。また、合意形成学に関連の深い、研究者や実務家を外部メンバー・国際メンバーとして受け入れ、講演会や国際セミナーを随時開催することで、広がりと深さを確保しながら新しい「合意形成学」の構築を進めています。さらに、書籍の出版、シンポジウム資料のWebサイトへの掲載、大学院レベルのカリキュラムの構築などを通じて、新しい「合意形成学」の実質的構築と教育プログラムの創出を進めています。

「合意形成学特別教育研究コース」は、IPCOB が構築・発信する、新しい教育プログラムです。IPCOB が開催するイベントにも是非ご参加ください。

IPCOB の書籍

- 猪原健弘（編著），合意形成学，勁草書房，282 pp., 2011年3月.
- 猪原健弘，よりよい主張への近道 PCM という方法，東京図書出版会，108 pp., 2008年3月.

コース指定科目

基礎科目

コミュニケーション演習（価値システム専攻）
 基礎数学演習（価値システム専攻）
 紛争処理演習（価値システム専攻）
 Effective Presentations in English（価値システム専攻）

コース修了認定要件

1

「合意形成学」の単位を取得。

2

コース指定科目の中から8単位以上を取得。

3

大学院課程修了要件あるいは他の特別教育研究コース修了認定要件との科目重複が4単位まで。

各科目の詳細については、各専攻や大学院総合科目の学習案内をご覧ください。

また、コースWebサイト
[\(http://www.ipcob.org/course/\)](http://www.ipcob.org/course/)
 もご参照ください。

必修

合意形成学（大学院総合科目）

理論

金融・経済活動と企業戦略（大学院総合科目）
 Social Systems Modeling（価値システム専攻）
 公共システムデザイン特論（価値システム専攻）
 Values in Comparative Culture（価値システム専攻）
 多文化共生社会論（価値システム専攻）
 日本経済論（価値システム専攻）
 経営における価値の創造と情報
 （価値システム専攻）

コア科目

実践

民事紛争処理と手続法（価値システム専攻）
 情報マネジメント法学（価値システム専攻）
 社会的合意形成の理論と技術（価値システム専攻）
 The Philosophy and Practice of
 Collaborative Deliberation（価値システム専攻）
 知能システム論（知能システム科学専攻）
 Environmental Impact Assessment I
 （環境理工学創造専攻）
 Environmental Impact Assessment II
 （環境理工学創造専攻）
 現代政治分析（価値システム専攻）
 社会的ジレンマの研究（価値システム専攻）
 地方財政論（価値システム専攻）

シミュレーション

シミュレーション社会科学（大学院総合科目）
 社会経済システム論（知能システム科学専攻）

グローバル科目

国際ネットワーク形成演習第一・第二（価値システム専攻）
 国際発表実践演習第一・第二（価値システム専攻）

問い合わせ先：

〒152-8552
 目黒区大岡山2-12-1
 東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻（W9-38）
 猪原健弘

TEL&FAX: 03-5734-3366
 E-Mail: courses@valdes.titech.ac.jp